

## 子どもを守ろうプロジェクト 久留米市役所・贈呈式

日 時：令和5年 1月11日（水）13：00～

場 所：久留米市役所

参加者：原口顧問、田中会長、近藤・星子両副会長、浅田理事、田井事務局長（6名）

原口久留米市長、井上教育長、横溝理事、坂本都市建設部長他幹部（7名）



左から、田井事務局長、浅田理事、近藤副会長、星子副会長、原口顧問  
田中会長、原口市長、井上教育長

# 会 報

事務局より

## 贈呈式で目録手渡す

### 久留米市に路面標示等寄贈

福岡県交通安全施設業協会



後地区で初の寄贈となった。

プロジェクトに基づく寄贈は5回目。これまで春日市、那珂川市、飯塚市、岡垣町に交通安全施設を寄贈しており、今回は久留米市立西国分小学校周辺の市道で、300万円相当の道路標識や路面標示を施工した。工事は昨年12月に、筑後地区の会員である久留米道路施設、木元産業、誠和興建、寺崎工業と、賛助会員の日本ライナー、スリーエムジャパンの協力

(一社) 福岡県交通安全施設業協会(田中賢哉会長)が久留米市に寄贈した交通安全施設の贈呈式「写真」が11日、市役所内で開かれた。協会が取り組む「子どもを守るプロジェクト」の一環となるもので、今回が筑

により行った。

贈呈式には、協会側から田中会長ら幹部と、顧問の原口剣生福岡県議会議員が参加。久留米市からは、原口新五市長、井上謙介教育長らが出席した。

田中会長は、「贈呈した施設が子どもたちの安全を守り、市の交通安全対策事業の一助となれば幸いです。子どもたちは未来の日本をつくる大事な宝。来年度以降も協会の重要な事業として継続していきたい」とあいさつ。原口市長に目録を手渡した。

原口市長は田中会長に感謝状を贈り、「たくさんのごことをしてもらい、心から感謝している。市としてできることがあれば協力し、同じ方向を向いて努力していきたい」と語った。

令和5年1月13日 九建日報掲載



目録を手渡し、感謝状を頂きました。

※読売新聞にも掲載予定です。